

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

横浜地本第3回地方委員会開催!

2月25日、川崎市総合自治会館において、総勢90名を超える参加者の下、横浜地方本部第3回地方委員会を開催し、第4回定期大会から半年間の総括と次期大会までの活動方針を満場一致で決定しました。

松田執行委員長のあいさつ(要旨)では、恒久的スローガンに沿った全員参加型のたたかいを職場からつくっていただいた。その結果として大会以降2名の組織拡大ができた。年末手当満額獲得のたたかいでは、各分会創造的な取り組みを行っていただいた。2017春闘、業務問題を含め大同団結を目指し取り組んでいく。エルダー社員制度は破たんしていると言える。今後もエルダー社員制度について取り組んでいくと述べました。

今委員会には、中央本部から生田書記長。ご来賓として退職者連絡会から小布施会長にご参加いただき、各自あいさつを受けました。



議長に大船地区分会 鈴木博善委員を選出し、質疑では14名の全委員から発言がありました。主には①組織強化・拡大の教訓について ②業務問題について ③安全問題について ④エルダー社員制度の問題点について ⑤情報宣伝活動について等の発言が出されました。

山口書記長の集約答弁(要旨)では、職場を拠点としたたたかいの発言が多く出された。更なる組織強化に邁進して行く。年末手当要求満額のたたかいで組織強化・拡大ができた。2017春闘にこの力を繋げていく。グループ会社の労働環境等、条件を良くしていかなければならない。国鉄改革から30年、労使関係もしっかりチェックし、分散した労働側の力を結集を図り、組合員主体のたたかいを推し進めていくと答弁を行いました。



た労働側の力を結集を図り、組合員主体のたたかいを推し進めていくと答弁を行いました。

